

第25回TC34総会報告



TC34総会参加者の集合写真

ISO/TC34総会5年ぶりの開催

2024年1月18日～19日に、第25回ISO/TC34総会がさいたま新都心合同庁舎1号館講堂において開催されました。今回のTC34総会は、2018年にアメリカで開催以来、約5年ぶりの開催でした。今回の日本開催に当たり、FAMICがホスト役を務めました。議長国のフランスをはじめ、中国、インド、スリランカ、ケニア、ナイジェリア、ウガンダ、アメリカなど13ヶ国以上から、TC34と関係する国際機関を含め80名以上が参加しました。



画像1 議長国フランスとISO中央事務局のメンバー

総会1日目

1日目は、主にWG (Working Group : TC34に設置されている作業部会) やSC (Sub Committees : TC34内の分科委員会) などから、担当する内容について20件以上の報告があり、活発な議論が行われました。

総会でプレゼンテーションを行ったSC

SC 番号	分科委員会名 (仮訳)	幹事国
2	採油用種子及び果実	フランス
3	果実、野菜及びそれらの二次製品	トルコ
4	穀物及び豆类	中国
5	牛乳及び乳製品	オランダ
6	食肉、家禽、魚、卵及びそれらの製品	中国
7	スパイス、ハーブ及び香味調味料	インド
9	微生物	フランス
11	動植物の油脂	イギリス
16	分子生物指標の分析に係る横断的手法	アメリカ
17	食品安全のためのマネジメントシステム	デンマーク
19	ミツバチ製品	中国
20	食品ロス及び廃棄	デンマーク

総会でプレゼンテーションを行ったWG

WG 番号	作業部会名 (仮訳)	コンビーナの出身国
14	ビタミン、カロテノイド及びその他の栄養成分	スイス
24	qNMR (定量核磁気共鳴分光法)	日本
25	緊急・危機的状況における食料安全 (保障)	日本
26	植物性食品	オランダ
27	職業的農業者組織	オランダ
28	パン用生酵母及び乾燥酵母の特性	ドイツ



画像4 日本が提案した災害食ISO規格の検討経過報告がありました。会場には災害食のサンプルも用意されました。

総会2日目

2日目は、主にTC34で今後取り扱う作業項目の検討 (日本から新規提案を検討している内容も含みます。画像4及び画像5をご参照ください。)、ISO全体やTC34の戦略計画などについての検討が行われました。閉会前には、今回のTC34総会としての決議が25件以上採択され、この中にはたいへんありがたいことにFAMICに対する感謝決議もありました。



画像5 TC34で取り扱い予定があるプロジェクトについて、これまでの活動報告と今後の方針についてプレゼンテーションを行う、特定非営利活動法人パイオ計装技術コンソーシアム 中江裕樹事務局長



画像2 議論を行う参加者達 (1日目)



画像3 議論を行う参加者達 (2日目)



閉会ご挨拶は、ISO/TC34国内委員会の春見隆文委員長に行っていました。